

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 津田 英利佳

1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受けて、2019年3月4日～3月18日までの期間、オーストラリア New South Wales 州のキングスクリフにある TAFE（高等職業訓練専門学校）にて薬学語学研修に参加しましたので報告いたします。

2. 事前研修会

渡航前に近畿日本ツーリストの方による研修会が行われました。事前研修会では海外研修での目的を明確化し、その目的を達成させるために今の自分を分析し具体的な行動プランを考え発表しました。また、ホームステイをする上で文化の違いによる心構えや注意点を知ることができました。

3. 現地研修校

TAFE (Technical and Further Education)では薬学・調理・コンピュータ・理学療法士など多岐に渡るコースが展開しており、留学生を対象とした様々な専門コース・英語コースも開講されています。午前は ESL クラスで英語力の強化、午後は薬学クラスでオーストラリアの薬事情について学びました。その他に現地薬局への視察など多彩なエクスカージョンもあり日本とオーストラリアの違いを体感することができました。はじめは不安や緊張もありましたが優しい先生方とツアーガイドの方の支えにより楽しく薬学英語を学ぶことができました。



写真1. 薬局見学

4. ホームステイについて

わたしのホームステイ先はポッツビルという自然豊かで美しいところでした。ホストファミリーは優しく親切な家庭でした。クリークやマーケットなどに連れて行ってくださったり、サーフィンを教えてくださったりパーティーを楽しんだり、オーストラリアでしか経験できない事をたくさんさせてくださりました。特に私はホストファミリーと食事をする時間が大好きでした。ホストマザーが作ってくださったおいしい料理を食べながら、会話を通してオーストラリアの食文化を知ることができました。また、子供たちと遊ぶ際にも楽しいだけでなく色々なことを学び吸収することができました。ホストファミリーのおかげで充実した2週間を過ごすことができました。

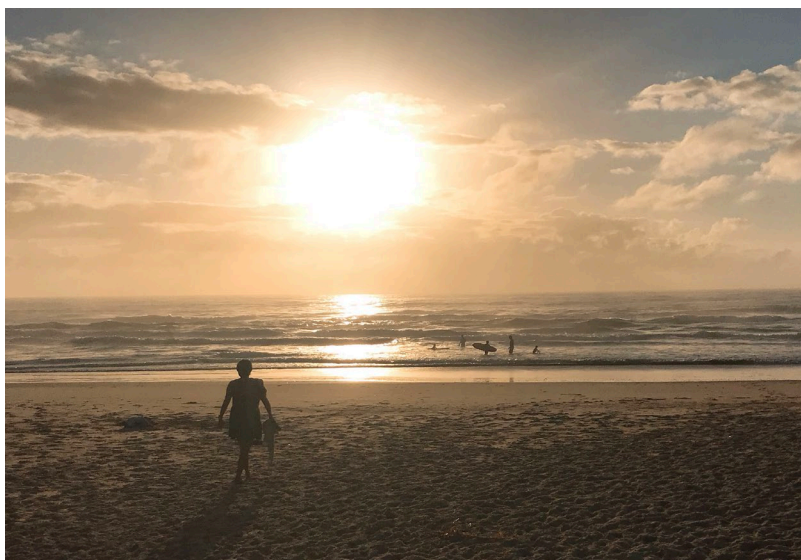


写真2. サーフィン



写真3. ホストファミリー

5. おわりに

今回の薬学語学研修を通して英語で意思疎通をすることの難しさを痛感したと同時に、もっと英語を学びたいという学習意欲にもつながりました。オーストラリアの文化や歴史に触れ、現地の小学生に日本文化を紹介する機会もあり、現地で多くの交流がありました。今回研修を共にした仲間やホストファミリー、現地でお世話になった方々とのかけがえない出会いと経験をこれからの学校生活に生かしていきたいです。

最後になりましたが、国際交流基金の助成によってこのような貴重な経験をさせて頂くことができました。このような機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



写真4. 集合写真